

平成29年度 学校評価表

年度末評価

校訓	平成29年度 学校教育目標
自学 福祉 剛健	自ら学び、やさしさを持ち、たくましく生きる美保南っ子の育成

項目	めざす姿	重点実践目標	達成状況								特支	達成状況コメント						
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	1年		2年	3年	4年	5年	6年	特支	
自ら学ぶ （知）	めあてをもって学習に取り組むことができる	○めあてをもって学習に取り組むことができる	A	A	A	A	A	A	A	A	A	学習のめあてを書いたり読んだりして確認し、最後に振り返ることができるようになってきた。	めあてがわかり、授業形態を工夫することで挙手し発言する児童が増えた。	めあてをノートに記入できている。めあてを提示すると意欲的に学習に向かうことができる。めあてに向かって積極的に発表しようとする児童が多い。	最後まで持続しない児童が数名いるが、大半の児童がめあてを持って最後まで取り組む姿勢ができています。	以前に比べて集中して意欲的に取り組んでいる。	ペアやグループの友だちと協力できるようになり、学習意欲も高まった。	めあてを授業のはじめに確認しながら学習に取り組んでいる。
	○しっかり話を聞くことができる	○しっかり話を聞くことができる	A	A	B	B	B	A	A	A	B+	最後まで静かに話を聞くことができる児童が増えた。	静かに最後まで聞ける児童が増えた。自分たちで注意しあうようになった。	盛り上がってしまい、話を聞くときのけじめがつかないときがある。相手を見て話を聞く姿勢はよい。	目を見て話を聞くことができるようになったが、話の内容を理解できるまではあと少しである。	静かに聞くことはできつつあるが、自分の考えと比べて聞くことができるかと思われると不十分などところがある。	学年全体の時には、特にしっかりと聞いている。	概ね話す人のほうを見て聞いている。不十分な児童には声かけをしている。
	○自分の思いを話すことができる	○自分の思いを話すことができる	A	B	B	A	B	B	A	A	B+	学習形態や指導法を工夫し、思いを話す場を設定することにより、改善されてきている。	話す機会を多く設定することができ、自分の考えや意見を伝えられる児童が増えた。	個人差があるが、発表しようという意欲はある。	全体場で難しい児童は数名いるが、グループ学習等では、友達に自分の考えを伝えられるようになった。	根拠や理由をもとに話す子どもと話さない子どもの間に差が生まれつつある。	グループでの学習、班活動などで、協力して課題解決に取り組む経験を積み、他者に助けを求める姿が増えてきている。	意欲的に発表する姿がある。個人差はある。
	○5か条を守ることができる	○5か条を守ることができる	A	A	B	B	B	A	A	A	B+	タイマーを活用し、具体的な準備物等を確認することで、できる児童が増えた。	早めに着席し、調息する心の準備ができています。	個人差が大きいので、忘れ物をしている児童には個別に指導した。	声掛けがあればできるが、自主的に行うまではあと少しである。	クラスによって差ができた。意識して声をかけるようになったクラスとそうでないクラスがある。	次の学習の用意をしてから、トイレ等に行けるようになっている。	個人差はあるが、概ね学習の準備ができるようになった。
やさしさを持つ （徳）	○落ち着いた廊下歩行ができる	○落ち着いた廊下歩行ができる	B	A	B	B	B	S	B	B	B	教師と一緒に歩けるが、児童だけで歩行するときにはできないこともある。	教室移動をするときは、落ち着いて右側を歩くことができている。	教室から廊下に出る際の共通のルールを工夫して作って取り組んだことが効を奏した。（ワンストップマークを作って実践したところ、子どもたちが意識して活動した。）	声を掛けられればできるが、自主的に静かに歩くという習慣化できていない。	まだ静かに移動することに課題がある。	担任がつかなくても、きちんと歩いている。	無意識に速くなってしまいう子ども、場面がある。声かけをすれば直そうとすることができる。
	○気持ちのよいあいさつができる	○気持ちのよいあいさつができる	A	B	A	B	B	B	S	A	A	教室では、明るい声であいさつをする児童が多い。	自分から進んであいさつしたり、明るい声であいさつを返したりできている。	リード委員会のあいさつ運動の取り組みがよかった。3年生ははりきってあいさつをしていた。	校内ではできているが、校外ではできていないと思われる。	挨拶の声は大きくなっているが、相手の目を見るなど丁寧な挨拶を意識できていない児童がいる。	玄関での挨拶はかなりよくなった。その他の場面でのあいさつの向上も見られた。	あいさつ運動をきっかけにあいさつの声が大きくなった。
	○相手の気持ちを考えた生活ができる	○友だちの気持ちを考えた言葉づかいや行いができる	B	A	B	B	B	B	A	A	B	そのときの感情でいやな言葉や言い方をしてしまうことがある。	呼び捨てはほとんど見られない。相手のことを考えた言葉遣いが見えだした。	「自学・福祉・剛健」の観点で後期や新年のめあてを決めて、自分の課題を意識して生活することができた。学年目標「ファイト！3年生」、「ナイス」な仲間になれるように、根気よく指導した。	呼び捨てではないが、愛称で呼ぶ児童がいる。	呼び捨てをやめよう意識している。言葉遣いについて周りが声かけできるようになりつつある。	「呼び捨てはやめよう。」と注意しあう姿が見られるようになってきた。また、指摘されたとき、きちんと言い直すようになってきている。	よい言い方、よくない言い方をお互いに声かけできる。そのときの感情で、いやな言葉や言い方をしてしまうことがある。
	○もくびか掃除ができる	○もくびか掃除ができる	A	B	B	A	B	A	A	A	B+	進んで掃除を始め、黙々と活動している児童が多い。	掃除場所やメンバーによって差はあるものの、ほとんどの児童が静かに取り組んでいる。	トイレ掃除など掃除の細かい役割分担を表にして、掃除の仕組みを作ったことで、自分の役割を自覚して掃除することができるようになった。	意識して取り組むことができている。	ときどき静かにできる日がある。	静かに、隅々までできる児童が増えた。	黙って活動できることが増えている。
	○はきものそろえができる	○はきものそろえができる	B	A	B	B	B	A	A	A	B+	進んでそろえる児童がいるが、急いでいるときなど、忘れていることもある。	意識してはきものをそろえることができている。	体育館シューズの履き替えのルールを確認し、片付けがきちんとできるように練習する。また、中間休憩後などにロッカーのチェックをして、シューズの整頓を確認する。	意識して気がつく児童が揃っているが、意識のない数名が荒らしている。	以前のように逆さになることはないが、そろえ切れていない。	玄関の靴はよい。トイレのスリッパもプロジェクト等の取り組みの成果が見えた。	自分でそろえる児童はいるが、急いでいるときなどに乱れることがある。
たくましく生きる （体）	○友だちと仲良く体を動かして楽しく遊ぶことができる	○友だちと仲良く体を動かして楽しく遊ぶことができる	A	A	A	S	B	A	A	A	A	休憩時間は、楽しく遊んでいる児童が多い。	休憩時間は誘い合って外で遊んでいる児童が多い。	ひとりぼっちの友達に「遊ぼう！」と声をかけて、遊ぶことができている。	友達と誘い合って遊ぶことができている。	二極化が進んでいる。冬の割にはダンスをするなどして楽しく体を動かしていた子もいた。4	仲間作りを進めようとする意識が高い児童が多い。	機会があれば交流クラスと活動できているが、積極的とは言い切れない。
	○めあてをもって体力づくりに取り組むことができる	○めあてをもって体力づくりに取り組むことができる	A	B	A	A	C	B	A	A	A-	体育の時間は、めあてを持ち取り組んでいるが、個人としては、できていないこともある。	体育の学習ではめあてをもって進んで取り組むことができているが、各個人としては天候のこともあり取り組みにくかった。	体を動かすことが好きで、休憩や体育の時間など力いっぱい運動している。	できるできないかは別として、挑戦しようとする姿が見られる。	マラソンカード、縄跳びカードを十分に活用できず、意欲を向上させることができなかった。	休憩時間等で体を動かそうとしていない児童もあった。	体育や自立の時間は、めあてを持ち取り組んでいる。
	○腰骨を立てて、調息ができる	○腰骨を立てて、調息ができる	S	B	A	A	A	A	S	A	A+	背筋をのばして静かに調息できる児童がふえた。	調息はできているが、立腰が意識できていない。	当番活動で担当を決めているので、責任を持って調息することができている。中間休憩の後、けじめがついてよい。	自分達で進めて調息ができるようになった。	始まりの時刻を意識してできるようになったが、中には目を開けたり、姿勢が悪かったりする児童がいる。	自分たちで時間を守ってできている。	よくできている。
開かれた学校	（公開）学校の教育活動を積極的に発信する	○OHPによる情報発信を増やす									A	○旬の内容を早く ○ほぼ毎日の更新へ						

※評価基準 S:十分達成(ほぼ100%) A:概ね達成(80%程度) B:変化のきざし(60%程度) C:まだ不十分(40%程度) D:目標、方策の見直し(30%以下)